

忙中閑話 「塵も積もれば」…小さいことだから大切に



世間には、小さいことを気にする人もおれば、「どうでもいい」と鷹揚に構える人がいる。

どちらかという、鷹揚に構えている人の方が、人間としても優れているように思われがち。

しかし、実際に、近寄ってみると、底が抜けている人が、案外と多いではありませんか。

「小さいことを気にする人」は、神経質な人として、敬遠されがちですが、近寄ってみると、「心配りのいい人」という、発見をすることもある。

厳しい経営環境下、企業は、必死になって頑張っている。徹底的なコスト削減に取り組んでいる。

しかし、生産部門のコスト削減努力に対して、営業部門や間接部門では、意外と、無関心になっていないでしょうか。

生産部門のコスト削減や合理化努力は、永年の経験的蓄積や実績もあり、一致団結して取り組みやすい。営業部門や間接部門では、そういう経験や実績がなく、ややもすると、軽視してしまう。

最近、「5S」の取り組み強化をしている会社が目に入ります。会社訪問しますと、「5S」のポスターを壁に添付している会社もあり、いいことだと思います。

しかし、本当に成果ある取り組みになっているのか…少し、疑問に感じる人が多い。

一番感じることは、「本当に、真剣にやっているのか」という疑問です。

筆者は、入社当時の実習で、生産現場の整理整頓ぶりと、間接部門の乱雑ぶりに、驚きを感じて、教育担当者に、そのような感想を述べて、褒められた経験があります。以来、それが頭にあり、徹底的に、身の回りの整理整頓をする習慣をつけて来ました。

例えば…

- ・帰社の時は、机の上に何も置かない。
- ・必要以上の事務用品は持たない、使わない。
- ・半年間、見ない・使わない資料はすべて廃棄する。
- ・1時間かかる仕事を30分でする。

・5枚の報告書を2枚にする。
・報告書は説明しなくても、理解できるように工夫する。等々。皆さんの社内、職場はいかがですか？

- ・カウンターや机回りが、書類の山。
- ・古い新聞や雑誌が無造作に置かれている。
- ・助成物、販促物、梱包が乱雑なまま。
- ・壁やカウンターにベタベタと紙が貼られている。
- ・応接間、会議室等公的部分が汚れている。
- ・灰皿に吸い殻がたまったまま。
- ・トイレや洗面台が汚れている。
- ・あちらこちらに、埃が溜まっている。
- ・机の中に一杯、事務用品がある。
- ・社員の身だしなみが悪い

その他、「これはおかしい?」と感じることはありませんか？

スズキ自動車の鈴木会長は、「年間に使用するコピー枚数…4千2百万枚を積むと富士山より高くなる」と、図示して無駄を警告されたり、社員の机の中にある事務用品を、全部出させて、一人が持つ数を限定し、余った事務用品は、「戦利品」として一括管理し、新しく必要な場合は、会長決裁にするほど、徹底的に取り組んでおられる。

これを、「大企業の会長のすることか」と笑うことはやさしい。しかし、一円を笑う者は、一円に泣く。

いわゆる、「5S」は誰もが出来る。しかし、「誰もが出来ないほど、執着しないと本物にならない」。

「5S」は、日常の仕事そのものに、深く入り込んでいなければならない。ポスターを壁に貼っている程度では、単なるスローガンに過ぎず、本物とは言えない。

ポスターを作成し、貼ることそのものも、一つのコストなのです。

もっともっと、小さいことに目を向けて、徹底的なコスト削減の取り組みが大切ではないでしょうか。

「利益が出ない」と悩む前に、やることは、まだまだある。



PROFILE

テクノ経営総合研究所 TECコンサルタント

上田 勝 うえだ まさる

松下電器出身、営業本部および本社経営監査部を経て、松下流通研修所、販売研修所 取締役所長を歴任
NPO兵庫経営塾 副理事長